



＜「日本一楽しい学校」を目指しましょう。＞

1月24日から30日は全国学校給食週間です。お腹を満たすだけでなく、成長や健康のためにバランスのよい食事のお手本として、また食事のマナーの学習や協力して準備・片付けをすること、作ってくれた人への感謝の心を養うなど、学校給食はいろいろな役割があります。



郷土料理教室がありました。地域の方が5年生に郷土料理を教えてくださいました。おもぶりご飯、せんざんき、みそ汁、そうめん瓜のサラダを作り、おいしくいただきました。ぜひ覚えて、お家でも作ってみてください。



大三島図書館から読み聞かせに来てくださいました。大きな絵本も図書館から持って来てくださいました。今月は3・4年生に「竜のさんばさん」など2冊の、ほのぼのと心が温まる本を読んでもらいました。



6年生が福祉施設利用者の方と、節分の飾り物づくりを行いました。節分は立春の前の日に行われます。「1年間健康で過ごせるように」と、悪いもの(鬼)を追い払う行事です。飾り物(鬼ぐい)のタラの木のとげや、イワシの臭いには、鬼が近寄らないそうです。



昨年、ドジャースの大谷翔平選手からいただいたグローブは、先週末から皆さんに使ってもらえるようになりました。大谷選手は、野球を始めた小学3年生のときから、自信をもって「将来プロ野球選手になる」と言い続けてきたそうです。そして、夢を実現するために自分がやりたいことを紙に書き、毎朝毎晩声に出して読み上げることを習慣にしていたそうです。すると、お腹の底からふつふつと「やる気」が湧き上がってくるのだそうです。しっかりした「夢」を持つことは、自分自身の力になります。

